

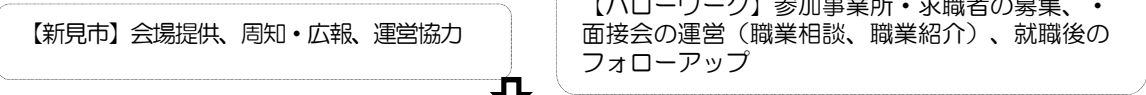
【岡山県新見市】【岡山労働局ハローワーク新見】 障害者の職業的自立を支援するため、市とハローワークが連携し、就職面接会を開催

【課題・目的】 障害者就職面接会は、例年10月に県下3ブロックで開催されているが、地理的要因から、新見地域からの参加は少ない状況である。
障害者自身の職業的自立意欲の喚起と事業主の障害者雇用に対する理解と認識を深めることを目的に、市とハローワークの協力体制を強化し、地域レベルの障害者就職面接会を複数開催し、マッチング機会の拡大を図る。

【実施概要】 第1回及び第2回「新見地区障害者就職面接会」をハローワークと自治体との共催で開催。
第1回（平成25年2月）参加事業所 5社 参加求職者20名 面接延べ数40件
第2回（平成25年10月）参加事業所10社 参加求職者14名 面接延べ数60件



【役割分担】



◎市が「無料職業紹介事業」を届出 ◎面接会企画運営ノウハウをハローワークから市へ

第3回「新見地区障害者就職面接会」を市が主催で開催。（ハローワーク協力）
第3回（平成26年2月）参加事業所10社 参加求職者13名

【役割分担】

【ハローワーク】が主催し【市】が協力 または 【市】が主催し【ハローワーク】が協力

【効果】

- ◆ 第1回結果 1人就職、2人職場実習へ移行
第2回結果 3人就職 第3回結果 3人就職
- ◆ 参加事業所の障害者雇用の理解と認識が深まり、面接会以外でも障害者雇用が進んでいる。
- ◆ 自治体においても面接会を開催することができる体制を構築したことにより、障害者の就職機会の拡充を図ることができた。

<新見市コメント>

地域の関係機関が一体となって障害者の社会参加の機会拡充を図ることは重要。今後もハローワークと連携し、相互協力のもと継続して開催したい。

<労働局コメント>

自治体の協力により、当地区においても就職面接会の開催が可能となった。更に連携を強化し、地域における雇用対策の一層の充実を図りたい。